

目標9 2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現

逆境の中でも前向きに生きられる社会の実現

Project manager

(2021年度採択)

山田 真希子

量子科学技術研究開発機構
量子医科学研究所
グループリーダー



代表機関

量子科学技術研究開発機構

研究開発機関

株式会社アラヤ
カリフォルニア工科大学
国立がん研究センター
玉川大学
筑波大学
東京科学大学
NTT コミュニケーション科学基礎研究所
北海道大学
京都大学
量子科学技術研究開発機構
Leibniz Institute for Resilience Research (LIR)

プロジェクト概要

逆境の中でも人々が「前向き」に生きられる社会の実現を目指すため、多様で多義的な「前向き」の構成要素を明確にし、身体姿勢および脳・生理反応の計測により前向き指標を算出し、前向き支援技術により個人の状況に合わせた前向き要素をアシスト・訓練・教育するための技術を確立します。

目指す社会像

逆境を自ら乗り越えることで幸福感を得る世界



逆境中の前向き＝逆境や困難に挑もう・乗り越えようとする心の働き

「チャンスは苦境の最中にある」（AINシュタイン）
～逆境を乗り越えるたびに、人は強くなれる～

2032年のマイルストーン

不察知計測による前向き推定技術を確立し、前向きアシスト技術・訓練技術・支援基盤を確立する

2027年のマイルストーン

身体情報からこころの「前向き」を推定する手法を確立し、文脈に適した前向き要素と程度を明確にする

研究開発体制(2025年4月時点)

項目1：前向き指標の作成と計測



量研機構
山田



NTT
柏野



Caltech
下條



アラヤ
濱田

項目2：前向きアシストと訓練



量研機構
平尾



量研機構
南本



筑波大学
佐渡

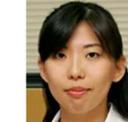


京都大学
井上

項目3：前向きELSIと社会応用



北海道大学
田口



国立がん研究センター
藤森



玉川大学
松田



東京医科歯科大学
高橋

項目4：逆境の克服



LIR
Wessa